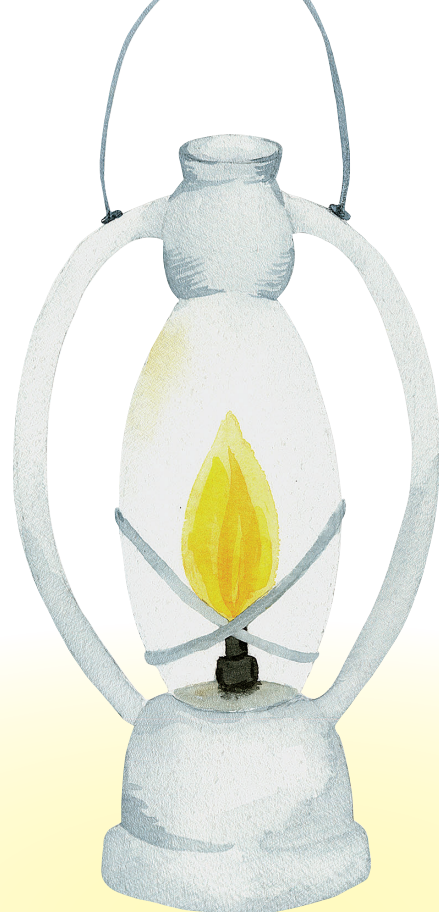


起業家の
ための
教育？

何のために
やるの？

探究とは
どう違う？



特集

アントレプレナーシップ とは何か？

半径5メートルから始まる世界

最近、「アントレプレナーシップ(起業家精神)」という言葉をよく耳にするようになってきました。また、アントレプレナーシップ「教育」を小中学校や高校に裾野を広げて導入することも検討されており、注目を集めています。

アントレプレナーシップ教育について編集部で議論を交わしたところ、さまざまな疑問が出てきました。

「アントレプレナーシップの定義って何だろう？」

「何のためにアントレプレナーシップ教育は必要なんだろう？」

「探究学習とは何が違うんだろうか？」

答えをもたないまま取材を重ね、考えを深めながら記事を作っていました。

そして、アントレプレナーシップについて知れば知るほど、イノベーションを起こす起業家だけに必要な資質・能力ではなく、もっと身近な「半径5メートル」の日常で育まれるものかもしれないと感じました。

アントレプレナーシップとは一体何なのか。読者の先生方と一緒に考えてみたいと思い、本特集を企画しました。

全国の先生方に聞いてみました。

アントレプレナーシップ教育の現状

昨年8月、全国の高校を対象に実施した「高校教育改革に関する調査2022」※のなかで、アントレプレナーシップ教育についてたずねてみた。

下図の通り、「アントレプレナーシップ教育を導入・活用している／検討している」と回答した割合は全体の約18%となっており、現時点では導入・活用する予定がない高校が多数であった。高校タイプ別に比較すると、専門学科では約25%と他学科より割合が高く、専門科目と関連づけて取り組んでいる高校が多そうだ。

アントレプレナーシップ教育に取り組むにあたり、どのような課題や不安があるかをたずねたところ、高校教育で取り組む必要性を疑問視する声が多く聞かれた。また、導入を検討する際、アントレプレナーシップ教育に対する知識やノウハウの不足、教員の負担の大きさなどが課題として挙げられた。

そもそもアントレプレナーシップとはどのような資質のことを指すのか、どのように育まれるものなのかがわからないと、高校教育のなかで取り組むことが難しいという現状がありそうだ。逆に言うと、アントレプレナーシップとは何かという本質を考えることで、既に行っている教育活動との接点を見つけていくことができるかもしれない。

図 「アントレプレナーシップ教育」の導入・活用状況 (全体／単一回答)

	n数	導入／検討中・計 (%)					導入／検討中・計 (%)	
		学校全体、もしくは一部で導入・活用している	導入・活用していないが、導入・活用を検討している	導入・活用をしていないし、する予定もない	わからない	無回答		
2022年 全体	943	9.5	8.6	58.7	22.8	-0.3	18.1	
設置者別	国公立	676	8.7	7.7	59.6	23.7	-0.3	16.4
	私立	267	11.6	10.9	56.6	20.6	-0.4	22.5
高校タイプ別	普通科	758	8.8	8.6	60.4	22.0	-0.1	17.4
	総合学科	60	8.3	8.3	53.3	28.3	-1.7	16.7
	専門学科	109	15.6	9.2	49.5	24.8	-0.9	24.8

※調査概要は41ページをご参照ください

「アントレプレナーシップ教育」に取り組むにあたっての課題や不安

- 起業に対して資質のある人間はそもそも一部である。多くは起業した人を支える側になる。それにもかかわらずその精神を高校教育で涵養することについての意義が理解できない(東京都／私立／普通科)
- 全高校生に必要な素養だとは思えない(埼玉県／県立／普通科)
- 関心はあるものの、探究活動やICTの導入など、優先度の高い他の教育活動で精一杯の感がある。教員の働き方改革も叫ばれる現在、さらなる教育活動の拡大には慎重にならざるをえない(島根県／県立／普通科と他学科併設)
- 一般的に言って、教員があまりも合わせていない精神の教育に校内の組織のみで取り組むのは難しい。この教育の意義、現代の生徒にとっての必要性、具体的なモデルとなる授業など研修できる機会が必要(茨城県／県立／総合学科)
- 専門的な知見をもつ人材が少なく、指導に苦戦している(福岡県／市立／総合学科)
- 基礎的な知識や技能の向上が最優先課題と考えている。知るからこそ面白みが理解でき、そこから創造が広がり、アントレプレナーシップにつながると考える(神奈川県／県立／普通科)
- 現実的ではない、高校生段階で行う必要が現状では不明(富山県／私立／普通科)
- 商業科で導入しているが、普通科でどう取り入れるか、人数も多いので規模をどうしていくかなど検討している(岐阜県／私立／普通科と他学科併設)
- 全体像がよくわからず取り組みにくい(香川県／県立／専門学科)
- 高校生段階での導入は、真摯な社会人としての生き方よりも、安易な進路選択を導く危険性につながるという不安がある(神奈川県／県立／普通科)
- 民間での経験のない教員で取り組んでいくことは現実的でなく、起業家教育をするために必要な人材を学校がどのように確保し活用できるかは大きな課題(福岡県／県立／普通科)
- 「総合的な探究の時間」を上手に利用しながら導入を考えているが、他科目内でも可能な模索が必要(愛知県／県立／総合学科)

どうやって
教えればいいか
わからない...



高校で
教える必要は
あるのだろうか？

次ページから
一緒に考えて
みませんか？